

## 2号機 事故時運転操作手順書 (徴候ベース) 改訂履歴

改訂 次数	改訂年月日	施行年月日	改訂 内 容
0	S. 63- 9-30	S. 63-10- 1	初版制定 福一原一発稟 63 号 5 号 福一原二発稟 63 号 5 号
1	H. 2- 1-11	H. 2- 1-12	「格納容器制御」PCV 圧力制御の見直し
2	H. 3-10-31	H. 3-10-31	今次、規程・マニュアル整備の趣旨に沿い見直しを行い、新たに制定する。 (V-30-9・C1-0-0-12) 尚、改定次数については「2」として制定とする。
3	H. 7- 3-13	H. 7- 3-13	1. 技術系職場新体制導入により課名変更に伴う改訂。 2. 旧第二発電部発電課については、規程マニュアルNo.を変更する。 (D1→C1)
4	H. 8- 2- 6	H. 8- 4- 1	本店及び、3 店所合同による「EOP 改定検討会」において [共研結果, 自社 研結果, OSART 指摘事項, 海外他社の良点] を検討し、改定する。 1. 改良版 EPG (Rev. 4) に基づく変更 (共研結果の採用) 2. AOP と EOP の体系を変更し、操作の遅れが生じないようにする。 「原子炉制御」をスクラム発生直後より使用する「スクラム」(RC) に 変更し、単一故障によるスクラムでも対応する (OSART 指摘事項) また、「スクラム」(RC) はパラレル表示とし、フローチャート通過後の 変動にも対応する。 (自社研結果の採用) 3. 大型フローチャートを採用し、これに必要最小限の情報等を記入し事故時 にチェックシートとして使用できる様式とする (OSART 指摘事項) 4. フローチャートの判断基準において、グラフィック化及び、カラー化を採 用する。 (自社研結果の採用) 5. フローチャートの記号変更で、使い勝手の改善 (海外他社の良点採用)
5	H. 9-10- 1	H. 9-10- 1	当所 GM 制実施に伴う改定
6	H. 11- 6-30	H. 11- 6-30	第 17 回定検改造に伴う改定 (1) D/G 2B 増設関連 (2) ADS 系に AM 用インターロック追加
7	H. 11- 7- 1	H. 11- 7- 1	第 17 回定検改造 (1) AM 対策その 2 (含む SOP-EOP インターフェイス)
8	H. 13- 1- 6	H. 13- 1- 6	新保安規定及び原災法制定に伴う見直し
9	H. 13- 1- 6	H. 13- 1- 6	この度の保安規定改定に伴い、原子炉施設の運転管理に関するマニュアル類の 所管を、運転支援グループに変更する。 (V-21・B1-0-1・C11-12) 尚、改定次数については「9」として制定とする。

履歴-1